



燃料クーラキット

Reelmaster® 5410/5510/5610-D および Groundsmaster® 4300-D
ラクションユニット用

モデル番号 139-6040

取り付け要領

取り付け

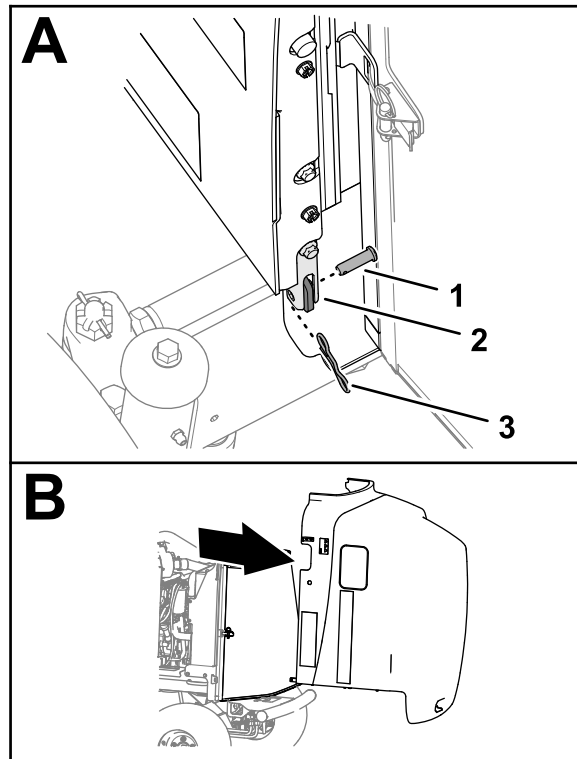
1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. カuttingユニットを下降させる。
4. エンジンを止め、キーを抜き取り、可動部が完全に停止したのを確認する。
5. エンジンが冷えるのを待つ。



g356307

図 1

1. クレビスピン
2. ピボットブラケット
3. ボウピン

2

フードとスクリーンを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. フードの左右にあるラッチを外す。

2. マシンのピボットブラケットにフードを固定しているボウピンとクレビスピンを外す 図 1。
3. フードを注意深く持ち上げて機体から取り外す 図 1。
4. スクリーンのラッチを固定しているボールピンを外す 図 2。



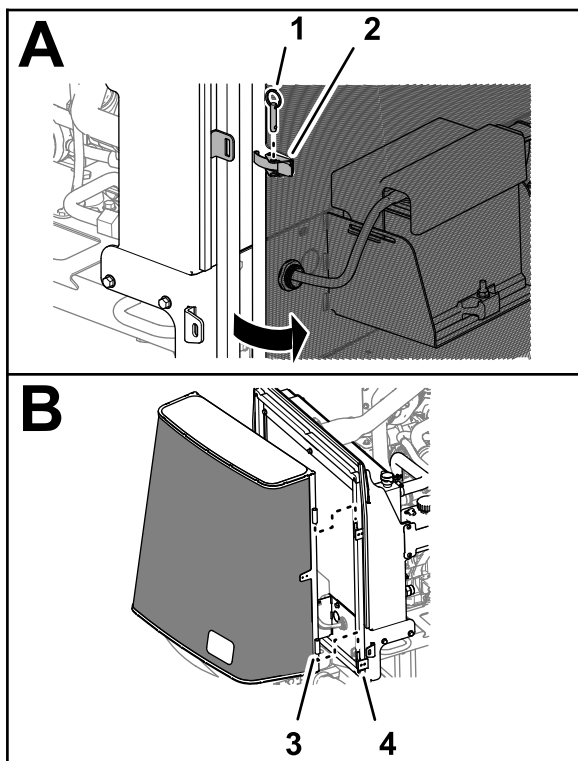


図 2

g356310

1. ボールピン
2. ラッチスクリーン
3. ヒンジ
4. ピボットピンラジエーターフレーム

5. スクリーンのラッチを外す 図 2。
6. ラジエーターフレームのピボットピンからスクリーンを持ち上げて外す 図 2。

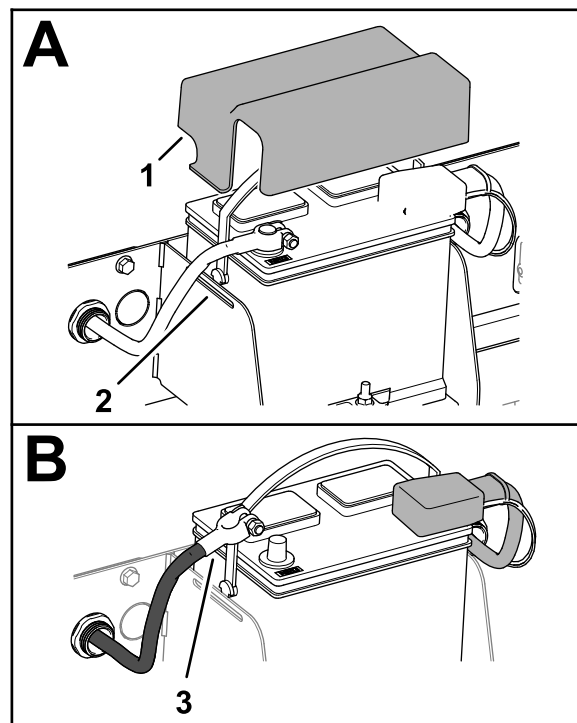


図 3

g356303

1. バッテリーカバー
2. スロットバッテリートレイ
3. クランプマイナスケーブル用

2. バッテリーのマイナス端子からクランプを外す 図 3。

注 外したケーブルが誤ってバッテリーに触れないよう、確実に離しておく。

3

バッテリーのマイナスケーブルの接続を外す

必要なパーツはありません。

手順

1. バッテリーカバーについているタブを押してカバーをバッテリートレイのスロットから外す 図 3。

4

燃料クーラを組み立てる

この作業に必要なパーツ

2	燃料ホース 9.5 x 559 mm 3/8 x 22"
1	燃料クーラ
	ホースクランプ
4	クリップナット
1	燃料クーラブラケット
2	押し込み式ケーブルタイ・アンカー
4	フランジキャップスクリュー 1/4 x 5/8"
2	ウレタンピース 12.7 x 12.7 x 127 mm
2	ウレタンピース 12.7 x 12.7 x 152 mm

手順

1. 燃料ホース 9.5 x 559 mm 2本を燃料クーラのフィッティングに取り付け、スプリング式ホースクランプ2個で固定する [図 4](#)。

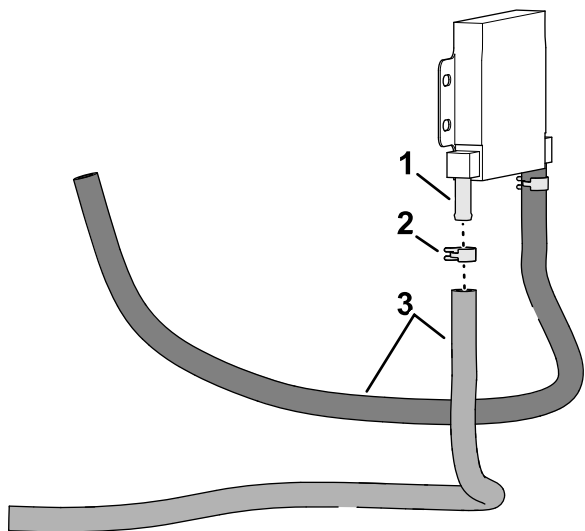
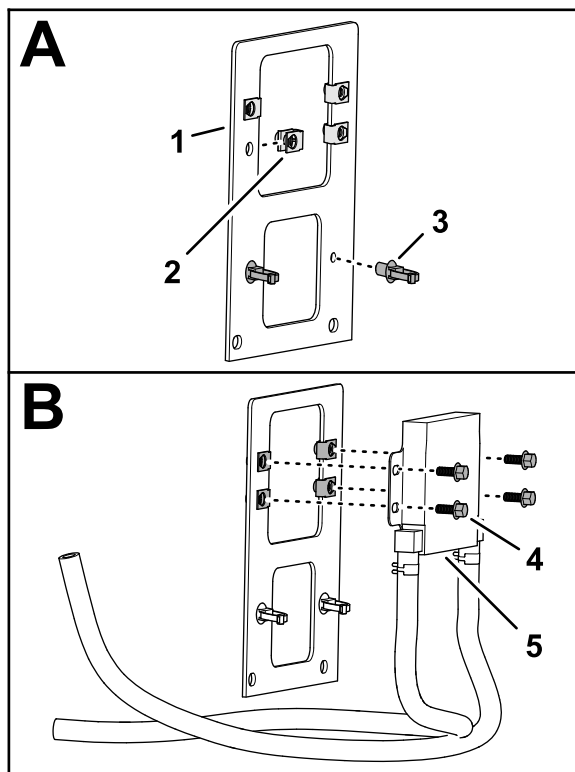


図 4

g356300

1. フィッティング燃料クーラ
2. ホースクランプスプリング式
3. 燃料ホース 9.5 x 559 mm

2. 燃料クーラブラケットの穴 9.5 mm にクリップナット 4個を取り付ける [図 5](#)。



g356299

図 5

1. 燃料クーラブラケット
 2. クリップナット
 3. ケーブルアンカー
 4. フランジキャップスクリュー 1/4 x 5/8"
 5. 燃料クーラ
3. ケーブルアンカー2個を、燃料クーラブラケットの穴 6.4 mm に取り付ける [図 5](#)。
 4. 燃料クーラブラケットに燃料クーラを固定する [図 5](#) フランジキャップスクリュー 1/4 x 5/8" 4本を使用する。
 5. 燃料ホース2本を燃料クーラブラケットに固定する [図 6](#) ケーブルアンカー 2 本を使用する。

5

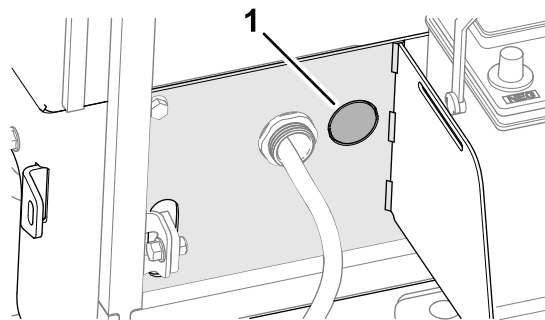
燃料クーラをラジエターブラケットに取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハトメ
2	キャップスクリュー 5/16 x 5/8"

ラジエターブラケット用の打ち抜きプラグが付いているマシン

1. バッテリートレイの左側で、ラジエターブラケット用の打ち抜きプラグを打ち抜く図 8。

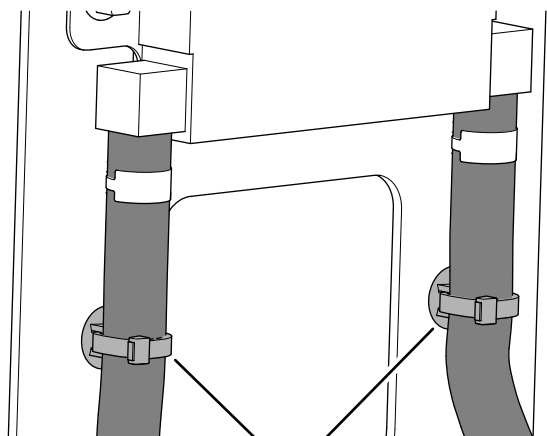


g356308

図 8

1. 打ち抜きプラグラジエターブラケット用

2. できた穴に残っているバリをきれいに除去する。

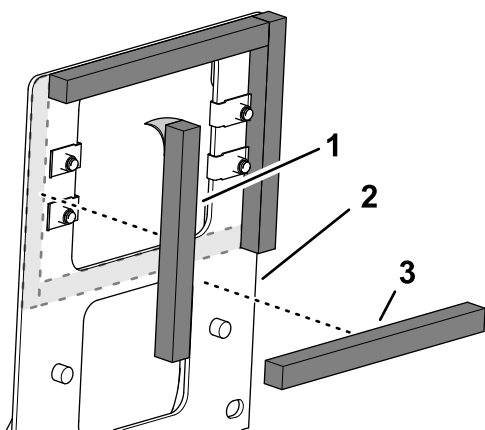


1
図 6

g356312

1. ケーブルアンカー

6. ウレタンピース4枚の裏紙を剥がす図 7。



g356295

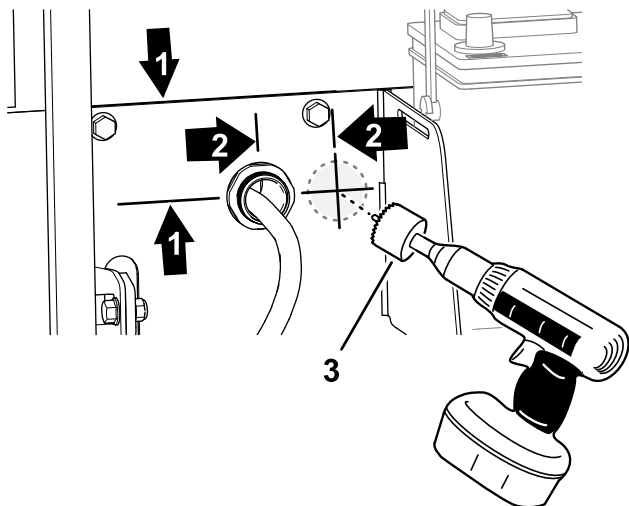
図 7

1. ウレタンピース縦 12.7 x 12.7 x 127 mm
2. 燃料クーラブラケット
3. ウレタンピース横 12.7 x 12.7 x 152 mm

7. 図 7のように、燃料クーラブラケットのもう一方の側に縦と横のウレタンピースを貼り付ける。

ラジエターブラケット用の打ち抜きプラグが付いていないマシン

1. バッテリートレイの左側で、バッテリーケーブル用の穴の中心から 51 mm の位置に、ラジエターブラケット用の穴をマーキングする 図 9。



g356304

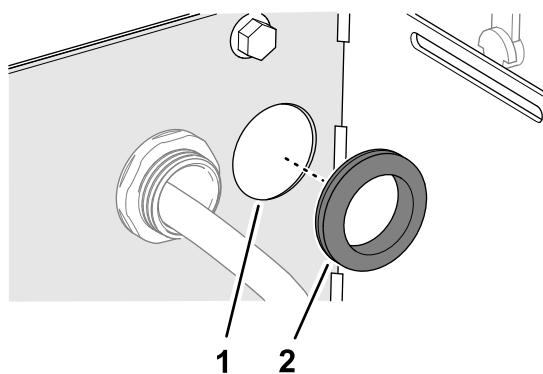
図 9

1. 64 mm
2. 51 mm
3. ドリルビット 38 mm (1-1/2")

2. 上部ラジエターブラケットから 64 mm の位置にマーキングする 図 9。
3. マークした線の交点にポンチを打つ。
4. ポンチを打ったところにパイロット穴を開ける。
5. パイロット穴を中心として直径 38 mm のブラケット穴を開ける 図 9。
6. できた穴に残っているバリをきれいに除去する。

ハトメを取り付ける

ラジエターブラケットの穴にハトメを取り付ける 図 10。



g356305

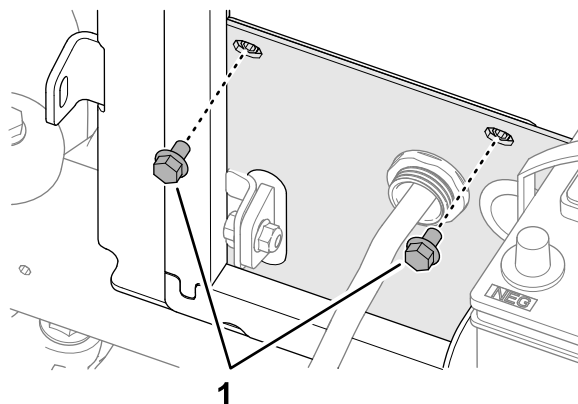
図 10

1. 穴
2. ハトメ

燃料クーラをラジエターブラケットに組み付ける

1. ラジエターをラジエターブラケットに固定しているフランジキャップスクリュー 5/16 x 1/2" 2 本を外す 図 11。

注 キャップスクリュー 2 本は廃棄する。



g356309

図 11

1. キャップスクリュー 5/16 x 1/2"

2. 燃料クーラの 2 本の燃料ホースを、ラジエターブラケットのハトメに通す 図 12。

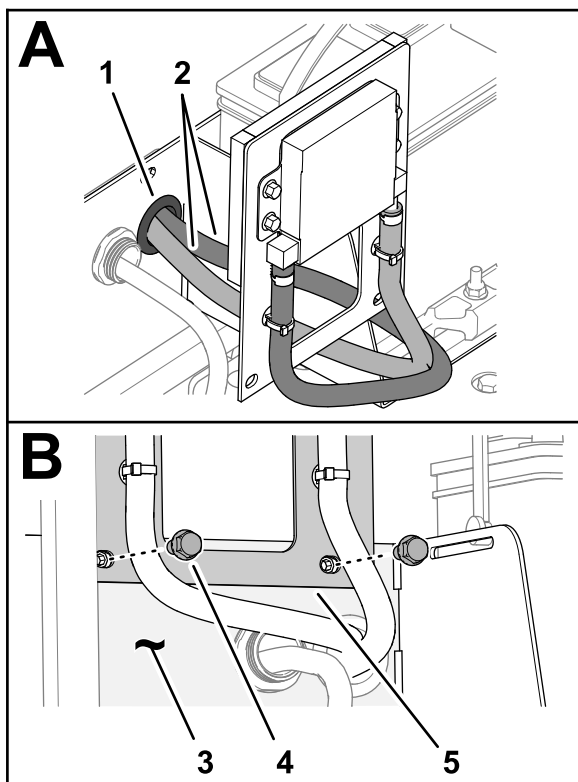


図 12

g356298

1. ハトメ
2. 燃料ホース 燃料クーラ
3. ラジエーターブラケット
4. キャップスクリュー 5/16 x 5/8"
5. 燃料クーラブラケット

3. 燃料クーラのブラケットの穴をラジエーターブラケットの穴にあわせる 図 12。
4. ラジエーターブラケットに燃料クーラブラケットを固定する 図 12 キャップスクリュー 5/16 x 5/8" 2本を使用する。

6

燃料クーラのホースの接続を行う

この作業に必要なパーツ

2	バンプ式ホースコネクタ
2	ホースクランプワーム型
1	燃料ホース 6.4 x 457 mm 1/4 x 18"
2	ホースクランプスプリング式
1	ケーブルタイ

燃料クーラ用ホースのフィッティングを組み付ける

1. 各燃料クーラホースに、バンプ式ホースコネクタを取り付ける 図 13。

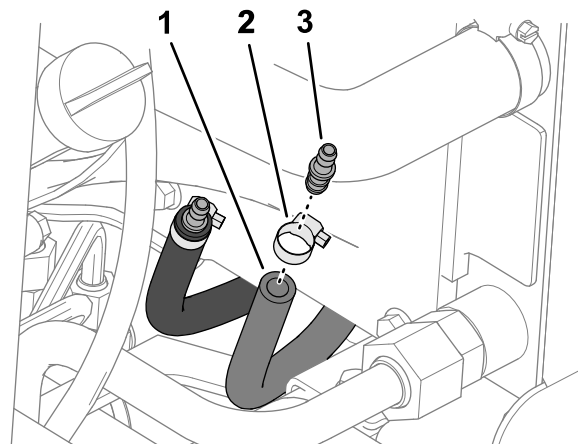


図 13

g356294

1. 燃料クーラのホース
2. ホースクランプワーム型
3. バンプ式ホースコネクタ

2. 各ホースにホースコネクタを取り付けてワーム型クランプで固定する 図 13。

燃料タンクに燃料クーラホースを接続する

1. スプリング式ホースクランプと燃料タンクのホースを、燃料フィルタのヘッドの一番後ろのフィッティング部で外す 図 14。

注 ホースクランプは捨てないこと。

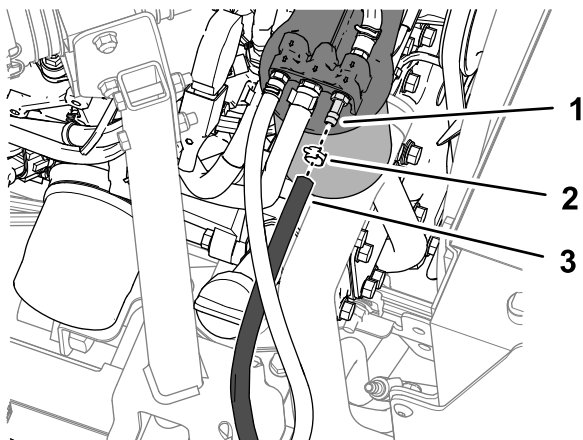


図 14

g356306

1. フィッティング燃料フィルタ 3. 燃料タンクのホースのヘッド一番後方
2. ホースクランプスプリング式

2. ホースの口をプラグでふさぐ。
3. ホースの経路を確保しつつ、燃料タンクのホースを、内側の燃料クーラ用ホースの隣にセットする 図 15。

注 燃料タンクのホースの経路が、マシンの左側フレームのレール近くにくるようにしてください。

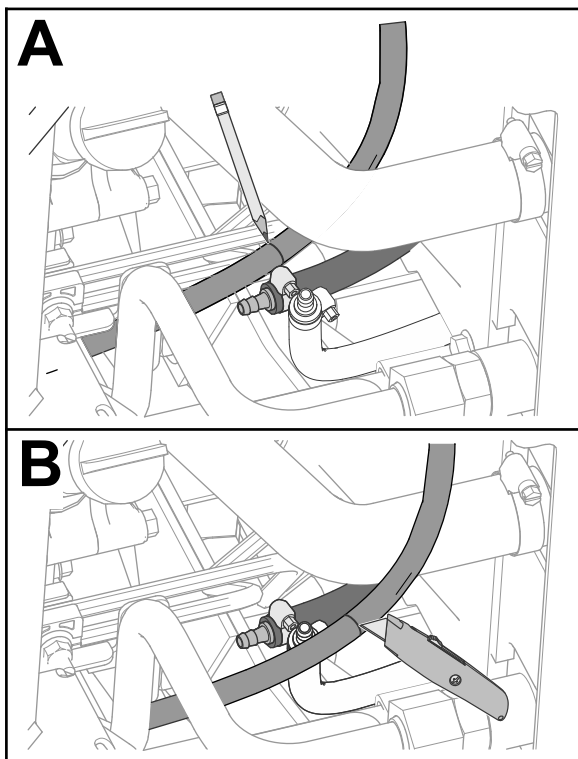


図 15

g356302

4. バープ式ホースフィッティング部で燃料タンクのホースに印をつける 図 15。

5. マーク位置で燃料タンクのホースを切断する 図 15。
6. ステップ1で外してスプリング式ホースクランプを、マシンの燃料タンクホースに取り付ける 図 16。

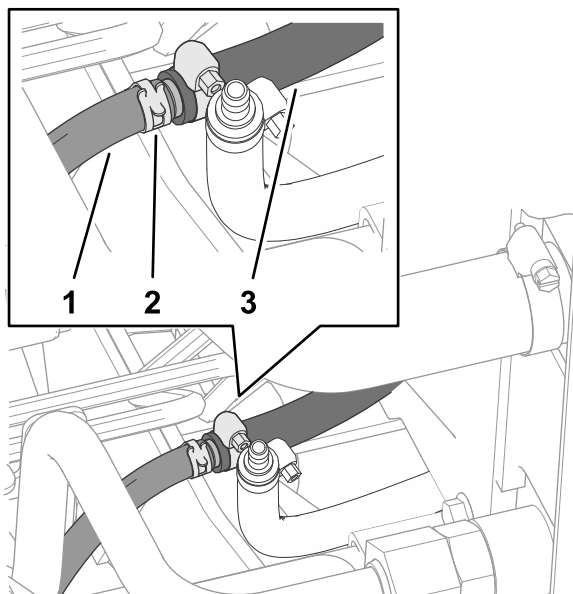


図 16

g356301

1. 燃料タンクのホース 3. 燃料クーラのホース内側
2. ホースクランプスプリング式

7. 燃料タンクホースとホースクランプを、内側の燃料クーラホースのバープ式コネクタに接続する 図 16。

燃料フィルタに燃料クーラホースを接続する

1. 燃料ホース 6.4 x 457 mm を、燃料フィルタヘッドの一番後ろのフィッティングに取り付け、スプリング式ホースクランプで固定する 図 17。

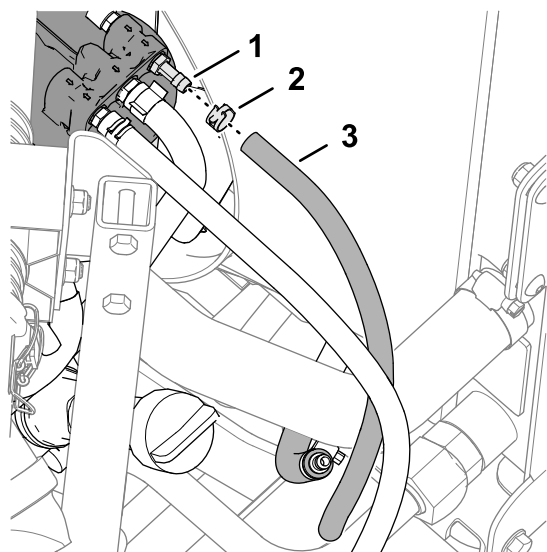


図 17

1. フィッティング 燃料フィルタのヘッド一番後方
2. ホースクランプスプリング式
3. 燃料ホース 6.4 x 457 mm
1/4 x 18"

g356297

2. 燃料フィルタホースのもう一方の端を、残っている燃料クーラホースにつなぐ 図 18。

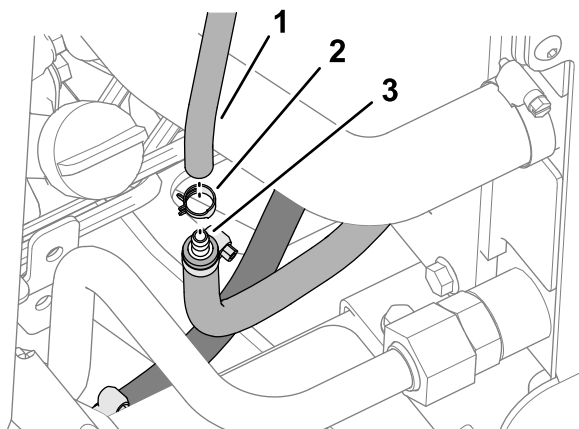


図 18

1. 燃料フィルタホース
2. ホースクランプスプリング式
3. バーブ式ホースコネクタ外側の燃料クーラホース

g356296

3. 燃料フィルタホースとスプリング式ホースクランプを、外側の燃料クーラホースのバーブ式コネクタに接続する 図 18。
4. 燃料クーラホース2本をケーブルタイでまとめる 図 19。

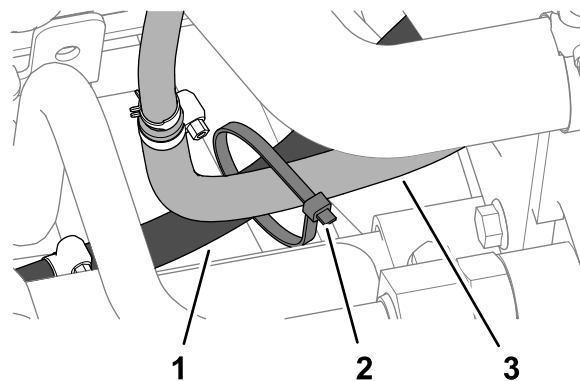


図 19

g356311

1. 燃料クーラのホース内側
2. ケーブルタイ
3. 燃料クーラのホース外側

7

キットの取り付けを終了する

必要なパーツはありません。

バッテリーのマイナスケーブルを接続する

1. バッテリー端子やマイナスケーブルから腐食などを完全に除去する。
2. マイナスケーブルのクランプをバッテリー端子に取り付けて、クランプについている T ボルトとナットで固定する 図 20。

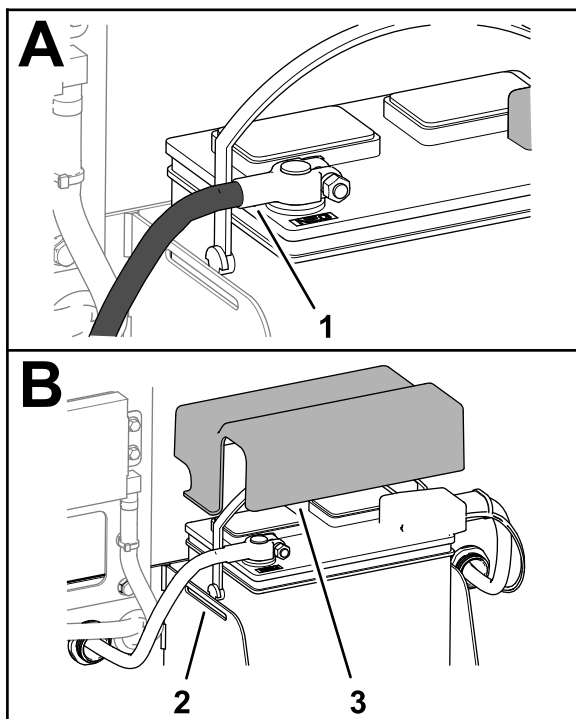


図 20

g356366

1. マイナスケーブル
2. スロットバッテリートレイ
3. バッテリーカバー
3. バッテリーのケーブルクランプに端子保護剤を薄く塗る。
4. バッテリーにカバーを取り付けるカバーに付いているタブをバッテリートレイのスロットに合わせてはめ込む 図 20。

燃料システムのエアパージを行う

1. エンジンの始動キーを RUN または ON 位置にセットする。
2. 燃料ポンプが作動を開始するので 10 秒間程度作動を続け、
3. キーを STOP 位置に回す。
4. そのまま 3540 秒間待つ。
5. ステップ 14 を、もう 2 回行う。
6. エンジンを始動し、燃料漏れがないか点検する (ページ 9) の操作を行う。

燃料漏れがないか点検する

1. 燃料ホース、フィッティング、燃料クーラから漏れていないか点検する。
重要 漏れている部分はすべて修正する。
2. エンジンを止め、キーを抜き取る。

スクリーンを取り付ける

1. スクリーンの蝶番を、ラジエターフレームのピボットピンに取り付ける 図 21。

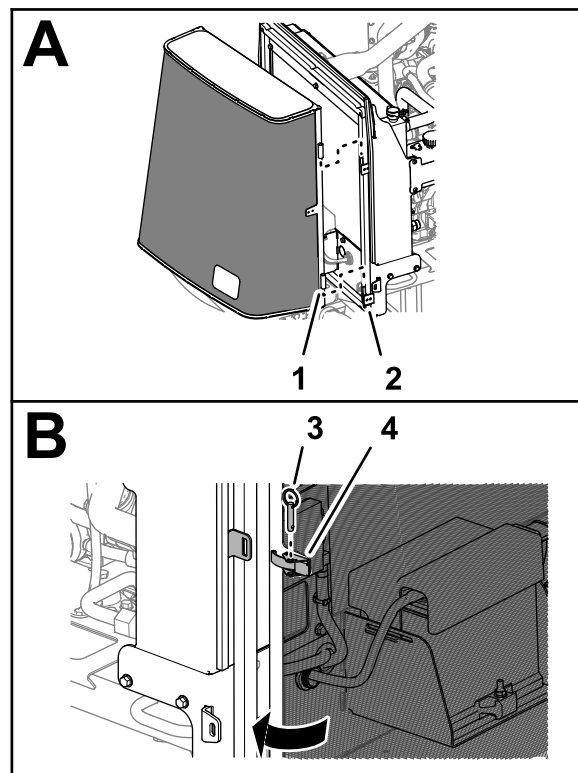


図 21

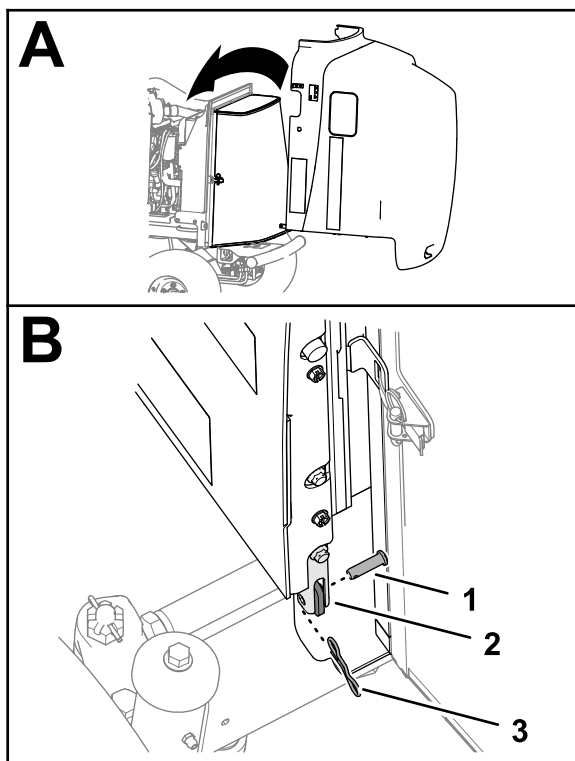
g356361

1. 蝶番スクリーン
2. ピボットピンラジエターフレーム
3. ベイルピン
4. ラッチ

2. スクリーンを閉じて、ラッチでラジエターフレームに固定する 図 21。
3. ラッチの穴にボールピンを入れる 図 21。

フードを取り付ける

1. マシン後部にフードを取り付ける 図 22。



g356365

図 22

1. クレビスピン
 2. フードのフレームチューブと
ピボットブラケット
 3. ボウピン
-
2. フードのフレームチューブの穴を、機体のピボットブラケットの穴に合わせる 図 22。
 3. フードのフレームチューブをピボットブラケットに取り付けるクレビスピン 2 本とボウピン 2 本を使用する 図 22。
 4. フードの左右にあるラッチを掛ける。

メモ



Count on it.